

# 学校だより・あすなる

校長 田崎俊一郎



## 学校の安全管理

学校は安全第一です。そのために、それぞれの学校では学校安全計画を策定し、日々の教育活動を進めています。学習場面での怪我防止はもちろん、保健衛生の管理、給食指導、防災指導、交通安全指導など、学校にもとめられる安全確保は多岐にわたるものがあります。そのひとつに災害に関わった防災教育があります。記憶に新しい令和6年1月1日の能登半島地震の発生など、災害はいつ起こるか予測できません。

22日(火)に、北小学校では火災を想定した避難訓練を行いました。今年度最初の避難訓練ということで、子どもたちには避難経路の確認と具体的な非難の仕方を指導しました。訓練の時、真剣に取り組むことがもちろん大切ですが、日頃から危険に備えておくことはとても大切です。静かに放送を聞く、廊下は右側を静かに歩くなど、日頃できていないことは、非常時にはできません。日頃から子どもたちの意識を高めていきます。



## 学びの姿

今年度150周年の北小学校です。写真展を見ながら、「今の学校に求められている学びは、写真に写っている時とはちがっているのだろうか」と思いました。

文部科学省が出している“2030年の社会と子どもたちの未来”という中には、これまでの近代教育の成果、とこれからの子どもの姿として次のように書かれています。「受け身でなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して一人一人が自らの可能性を最大限に発揮し、よりよい社会と幸福な人生を自ら創り出していくこと大切である。」

これからの教育では、これまで以上に主体的な態度で学ぶ児童の育成が求められています。そして、学びの姿として「解き方があらかじめ定まった問題を効率的に解ける力を育むだけでは不十分であり、(途中省略)蓄積された知識を礎としながら、膨大な情報の中から何が重要かを主体的に判断し、自ら問いを立ててその解決を目指し、他者と協働しながら新たな価値を見出していくことが求められる。」と示されています。

時代の変化は急激です。主体性や創造する力は簡単に身に付くものではありません。しかし、日々の小さなことの積み重ねが大切だと考えます。認め励ますことで、自己肯定感を高め、自信をもって取り組ませることが主体性を育てます。日々の学校教育の中で、それぞれの子どもたちの考えを尊重し、学び合う場面を位置付けることで、主体性や創造性を養っていきます。

